

# 1年生

## この時期の子ども

- いろいろなことに興味をもち、なんでも知りたい、やりたいと思っています。
- がんばりを認めてもらいたい。よいところをほめてもらいたいと思っています。
- 1年生になったことで、進んでよいことを身に付けようとしています。

興味・関心を学ぶ意欲に

知りたい、やりたいと思うことに進んで取り組ませましょう。

ほめ言葉がエネルギーに

「よくできたね」「やればできる」という ほめ言葉が意欲や自信を引き出します。

生活習慣＝学習習慣

「早寝」「早起き」「朝ご飯」「3点固定」など、基本的な生活習慣＝学習習慣となります。

# 基本的な生活の習慣を身に付けましょう。

さあ、  
はじめよう！

学習の目安

# 15分

- きまったじかんに 学しゅうしよう。
- つくえの上のせいり、せいとんしよう。
- 学しゅうにひつような ようぐを そろえよう。
- しゅくだいを たしかめよう。
- しゅくだいを さいごまで やりましょう。

## こんなことが できるようになろう



- 大きなこえで 本が よめる。
- 正しいせいとえんぴつのもちかたで、ていねいに字が かける。
- ひらがな、カタカナがよめる、かける。
- ならった かんじをよめる、かける。
- 「は」と「わ」「へ」と「え」、「おとうさん」「おかあさん」などをかきわけることができる。



- たしざん、ひきざんがはやく、正しくできる。
- まわりにあるものをつかって、「あと、いくつで10になるか」がわかる。
- いえの中にある いろいろな「まる」「三かく」「四かく」のかたちを見つけることができる。



- すきな本を 10ぶんより ながいじかん よむことができる。
- よんだ本を かぞくに よむことができる。



- つぎの日の、学校のじゅんびが じぶんで できる。
- すききらい いわずに たべることができる。
- 花や生きものの せわができる。

## しゅくだいのほかに こんなこともしてみよう

- どくしょをする。(よんでもらう)
- きょうかしょをうつす。
- ドリルをする。(けいさん、かんじなど)
- えにつきやにつきをかく。
- じてんやずかんでしらべる。
- いきものやくさばなをかんさつする。
- とけいをみてじかんをいう。
- いえのてつだいをする。
- あした がっこうで べんきょうするところをみる。
- おうちのひとと かいものに いく。
- しりとりノートをつくる。
- なぞなぞノートをつくる。
- カタカナ・ひらがなクイズ ノートをつくる。



# 2年生

## この時期の子ども

- 自分の力でできることが増え、自信をもてるようになります。
- 正義感が強く、正しいことを実行しようとしています。
- 自分の体や健康について、気付くようになります。



「できた」体験を

子どもに自信をつけさせる最もよい方法は、達成感を与え、できた体験を数多くさせることです。

大人が手本に

善悪をしっかりと教えましょう。なぜ悪いのかも、分かるように、話して聞かせましょう。

健康に関心をもって

食事や運動、休息、睡眠は、健康とどのように関係しているか、話し合しましょう。

# 善悪の判断や挨拶の習慣を身につけましょう。

さあ、はじめよう！

学習の目安

# 30分

- きまったじかんに 学しゅうしよう。
- つくえの上をせいり、せいとんしよう。
- 学しゅうにひつような ようぐを そろえよう。
- しゅくだいを たしかめよう。
- しゅくだいを さいごまで やりましょう。

## こんなことが できるようになろう



- 大きなこえで、本がよめる。
- 「、」「。」「」に気をつけて、すらすらよめる。
- 「 」の中の言葉をくふうして よむことができる。
- ならったかんじを正しくよめる。かける。



- くり上がりのたし算やくり下がりのひき算が正しくできる。
- かけ算九九がスラスラいえる。
- じょうぎをつかって じょうずにせんがひける。
- きめられた長さのちよくせんがひける。



- すきな本を 20分より 長い時間 よむことができる。
- え本のよみきかせができる。



- 食じの後、しっかり はみがきができる。
- 学校のじゅんびが じぶんでできる。
- 外で元気にあそんだり、うんどうしたりできる。
- ルールをまもって、みんなとあそぶことができる。

## しゅくだいのほかに こんなこともしてみよう

- 読書をする。（読んでもらう）
- 教科書をうつす。
- ドリルをする。（計算、かん字など）
- え日記や日記をかく。
- じてんやずかんでしらべる。
- 生き物や草花を育て、かんさつする。
- 読んだ本の かんそうを書いてみる。
- 明日 学校で べん強いところを見る。
- かん字クイズノートを作る。
- お出かけの計かくをたててみる。
  - どんな乗り物でいくと べんりか？
  - お金はどうやってはらい、いくらか。
- 学区探検
- 時間や時こくをいってみたり、後なん分か考えたりしてみる。
- 詩（し）やたん歌、百人一首をおぼえる。



# 3年生

## この時期の子ども

- 好奇心旺盛で、いろいろなことに関心を持ち、好きなことに熱中するようになります。
- 自立心が芽生え、自分でやろうとすることが多くなります。
- 仲間意識が強くなり、グループをつくって遊ぶことが多くなります。

好奇心を学ぶ意欲に

自立心を尊重して、相談や見届けも大切に

納得させて伸ばす

宿題以外の学習にも積極的に取り組ませましょう。身の回りの自然や社会の出来事にも目が向くように働きかけてみましょう。

無理のない学習計画を自分で立てさせましょう。自分の力に合っているかどうかの相談や見届けもしましょう。

兄弟姉妹や友だちと比べることは禁物。また、頭ごなしに叱っては、かえって逆効果。一つ一つ納得させながら話しましょう。

さあ、はじめよう！

学習の目安

# 45分

- 決まった時刻に、学習を始めよう。
- 学習する場所の整理、整とんをしよう。
- 学習にひつような物をそろえよう。
- 宿題を最後まで、やりましょう。
- む理のない学習計画を自分で立てよう。

## こんなことが できるようになろう



- ようすを考えて、音読することができる。
- 習った漢字を読める、書ける。
- 国語じてんを正しく使える。
- みじかい詩やことわざをおぼえる。
- しゅ語としゅく後がわかって、文を書くことができる。
- ローマ字が読める。書ける。



- わり算ができる。
- コンパスを正しく使うことができる。
- はかりを使って重さがよめる。
- いろいろな三角形のちがいがわかる。



- 家にある物で、電気を通す物やじ石につく物をわけることができる。
- 地図の見かたと地図記号、東西南北がわかる。



- いろいろなしゅるいの本を読むことができる。
- 読んだ本の題名や心にのこったことを、伝えることができる。



- 気持ちのよい言葉づかいで人と話すことができる。
- 交通ルールや学校のきまりを守って、安全にすごせる。
- 外で友だちとなかよく遊んだり、運動したりできる。

# 9歳の壁を乗り越えよう。

## しゅくだいのほかに こんなこともしてみよう

- 読書をする。（読書日記を書く）
- まちがった問題や分からなかった問題をやり直す。
- ドリルをする。（計算、かん字など）
- 日記をかく。
- リビングにじてんをおいて、知りたくなったら、じてんでしらべる。
- 生き物や草花を育て、かんさつする。
- 明日、学校でべん強するところを見る。
- 教科書をよく見て写す。
- 家のお手伝いをする。
- 今日、学校で勉強したところを読む。
- 漢字しりとりや熟語あつめ、同じへんやつくりをもつ漢字集め。  
童話⇒話題⇒題名⇒名物
- 家ぞくで、読書タイム
- こん虫やしよく物をさがす。



# 4年生

## この時期の子ども

- 自分でやること、できることが増えてきます。また、行動範囲も広がってきます。
- 仲間とのつながりが、より強いものになります。
- 大人の言うことに、理屈を言って反論することも増えてきます。

好奇心に共感を

自信をつける

ねばり強く

興味・関心をもったことに親が共感することで、個性が伸びていきます。自分で工夫する活動をできるだけ任せてみましょう。

手助けは最小限にしながら、「自分の力でできた」という経験を増やしていきましょう。子どもの「がんばり」を見逃さず、本気で褒めましょう。

テレビやゲームの時間を決めたら、決めたことは必ず守る大切さを教えましょう。順を追って納得させながら話し合うことが大切になります。

学び方を学び、追求する力を育てましょう。

さあ、はじめよう！

学習の目安

60分

- 決まった時刻に、学習を始めよう。
- 学習する場所の整理、整とんをしよう。
- 学習に必要な物をそろえよう。
- 宿題を最後まで、やりましょう。
- 勉強したところのふく習をしよう。

## こんなことが できるようになろう



- 様子がよく分かるように工夫しながら、会話文は気持ちをこめて読むことができる。
- 習った漢字が読める、書ける。
- 国語じてん、漢字じてんが正しく使える。
- 言葉のつながりを考えて文章をかくことができる。



- わり算の筆算ができる。
- 平行四辺形や台形のとくちょうがわかる。
- 分度器を正しく使うことができる。
- だいたいの数で表したり、その計算ができる。
- 長さや重さ、広さや量のたんいがわかる。



- 都道府県や県庁所在地を覚えて、漢字で書ける。
- 気温や温度の測り方がわかる。
- 雲や月、星を観察して、その動き方がわかる。
- 長野県の地形やとくちょうがわかる。



- いろいろなしゅるいの本を読み、友だちに紹介することができる。
- 友だちから、紹介してもらった本を読むことができる。



- テレビを見る時間やゲームをする時間を、家族と決めて、守ることができる。
- 次の日の学校の準備をしたり、学校で勉強するところを読むことができる。

## しゅくだいのほかに こんなこともしてみよう

- 読書をする。（読書日記や感想文を書く）
- まちがった問題をやり直し、なぜまちがってしまったか、振り返ろう。
- 繰り返しドリルをする。時には、親子で競争してみよう。
- リビングに辞典・辞書をおいて、知りたくなったら、辞典・辞書で調べる。
- 今日、学校で勉強したところや明日、学校で勉強するところを読もう。
- ニュースの記事に関心をもって、自分なりの感想を話してみよう。
- 家のお手伝いをする。
- 自分だけの「辞典」を作ってみよう。

「仮面ライダー辞典」  
「鉄道辞典」「レシピ集」  
「行ってみたい場所に  
ガイドマップ」



この時期の子ども

- ・自分の考えで行動し、自己主張をするようになってきます。また、考える楽しさを味わうこともできるようになります。
- ・自分のことを客観的にとらえられるようになります。また、友だちが自分をどのように見ているか気になり始めます。
- ・体も心も成長しますが、時には不安定な状態になることもあります。

つかず離れず

手をはなしても目を離さない

人生の先輩として

子どもに根ほり葉ほりしつこく聞くと嫌がりますが、かと言って聞いて欲しいこともあるものです。食事の時間など、自然に会話ができる時間を持ちましょう。

親としての心配りを怠らず「気にしているよ」「一緒になんとかしていこうね」という姿勢を持ちましょう。

この時期には身体の変化や心の不安定さがあるということを子どもに伝え、自分の経験を話してあげましょう。

さあ、はじめよう！

学習の目安

75分

- ・決まった時刻に、学習を始めよう。
- ・学習する場所の整理、整とんをしよう。
- ・宿題を最後まで、やりましょう。
- ・勉強したところの復習をしよう。
- ・次の日の学校の学習を確かめましょう。

こんなことが できるようになろう



- 音読の習かんが身につく、気持ちをこめ、間を考えて読める。
- 学習した漢字・熟語の読み書きができる。
- 国語辞典、漢字辞典を使って調べることができる。
- 日記を書いたり、調べたことを文章にまとめることができる。



- 早く正確に計算ができる。
- 分母の異なる分数のたし算、ひき算ができる。
- 割合、百分率を使った問題を解くことができる。
- 小数のかけ算、わり算ができる。



- 47都道府県の名前、県庁所在地、位置がわかる。
- 日本とつながりの深い国の名前を位置がわかる。
- 日本の国土の特徴がわかる。



- 好きなシリーズの本を読破することができる。
- 今まで読んだことのないジャンルの本も読むことができる。



- 地域の行事やほうし活動にすすんで参加する。
- 朝食をしっかりと食べることができる。
- 走力や持久力、筋肉など、自分の体力で弱いところを見つけて、きたえることができる。

しゅくだいのほかに  
こんなこともしてみよう

- 読書をする。（好きなシリーズ読破）
- まちがった問題や分からなかった問題をやり直して、間違えてしまった理由を考える。
- 教科書をよく見て丸写してみよう。
- 百人一首や詩を暗唱してみよう。
- 学校で習ったことの復習してみよう。
- 学校で書いたノートを綺麗に分かりやすく、書き直してみよう。
- いろいろなドリルに取り組んでみよう。
- ニュースや新聞を見て内容を文章にまとめてみよう。
- 家の手伝いをしてみよう。
- 明日、学校で勉強するところを予習する。
- テレビドラマの展開を予想して書いてみよう。
- テレビのクイズ番組に挑戦してみよう。



この時期の子ども

- ・倫理的な思考や理解、創造的な考えなどが高まってきます。個人差はあるものの自分なりの問題解決を求めようになります。
- ・互いに協力し合って、より充実した生活をつくらうという態度と行動が表れてきます。
- ・体も心も大きく変化する時期です。また、人とのつながりが広がってきます。

自分なりの解決を

やる気を認めて

体験活動が大切

何が分かって、何が分からないのかを見定め、自分なりに解決できるようなアドバイスをしましょう。

子どもたちのやる気を認め、励まし、成就感や自己有用感を味わわせてください。

小学校から中学校にかけて、子どもは急速に世界を広げ、成長していきます。様々な体験を通して、その子らしさを育み、認めてあげることが大切です。

さあ、  
はじめよう！

学習の目安

90分

- ・決まった時刻に、学習を始めよう。
- ・学習する場所の整理、整とんをしよう。
- ・宿題を最後まで、やりましょう。
- ・勉強したところの復習をしよう。
- ・次の日の学校の学習を確かめましょう。

こんなことが できるようになろう



- 音読の習慣が身につく、内容をおさえながら読むことができる。
- 学習した漢字・熟語の読み書きができる。
- 国語辞典、漢字辞典を使って調べることができる。
- 日記を書いたり、調べたことを文章にまとめたりできる。
- 簡単な古文を読むことができる。



- 素早く、正確に計算問題ができる。
- 帯分数のたし算・ひき算ができる。
- 分数のかけ算・わり算ができる。
- 拡大や縮小の意味が分かる。
- XやYなど文字を使った式をかくことができる。



- 歴史上の人物や出来事について説明することができる。
- 理科の実験から、分かったことを理由をつけて説明することができる。
- 辞書や辞典、インターネットで調べることができる。



- 歴史上の人物の伝記を読み、その生き方を100文字程度の分にまとめることができる。



- 自分でめあてを決め、家の仕事を毎日、続けることができる。
- 心のこもったあいさつをして、家族や友だち、近所の方と言葉のキャッチボールができる。

しゅくだいのほかに  
こんなこともしてみよう

- 自分の好きな俳句や短歌、詩を暗唱したり、その日の出来事をもとに「今日の一句」をつくってみよう。
- 四字熟語や慣用句、ことわざを集めてみよう。使い方を考え、絵や言葉で表し自分だけの辞典づくりに挑戦しよう。
- 同じ形をしきつめて、いろいろな模様を描いたり、展開図を考えて、いろいろな立体を作ったりしてみよう。
- 外国の出来事について日本との違いについて考えを書きましょう。
- ニュースを見たり、新聞を読んだりして自分の考えをもって、家族を話し合ってみよう。
- 好きな歴史上の人物について調べて、歴史新聞を作ってみよう。

